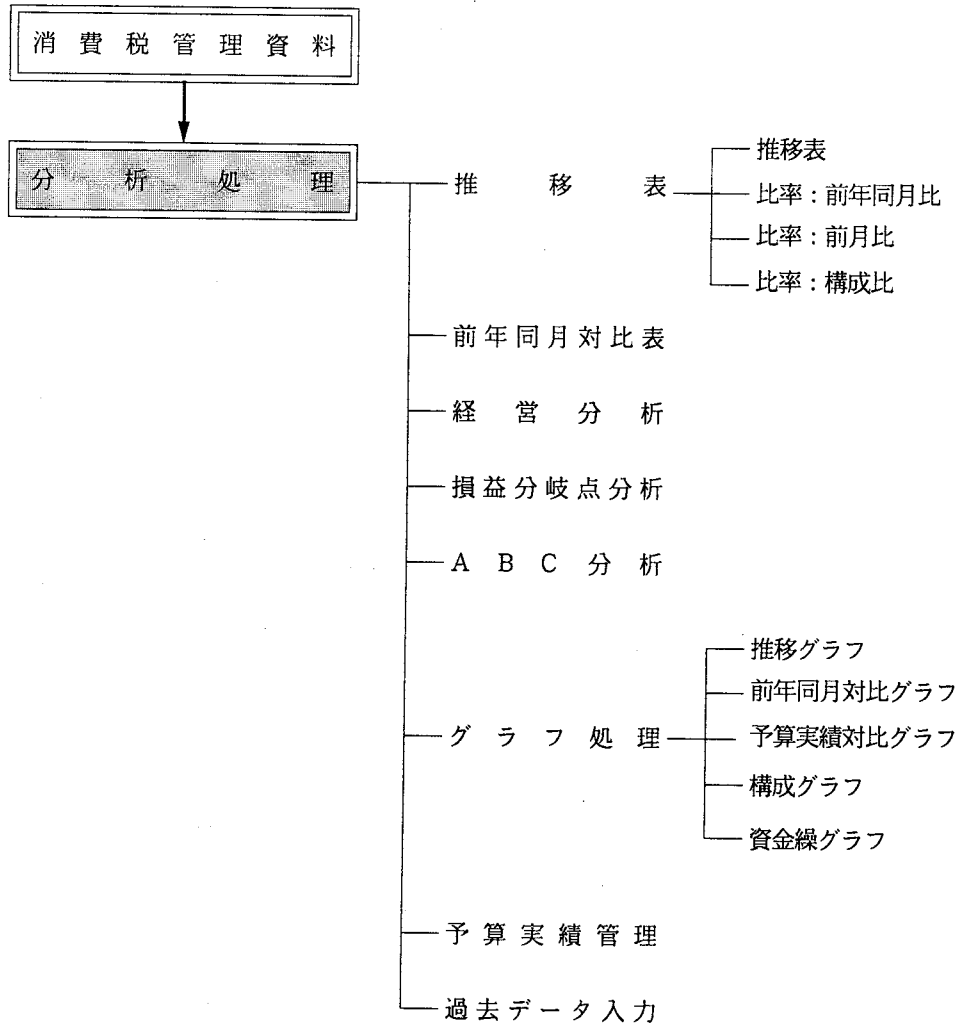


第6章 分析処理

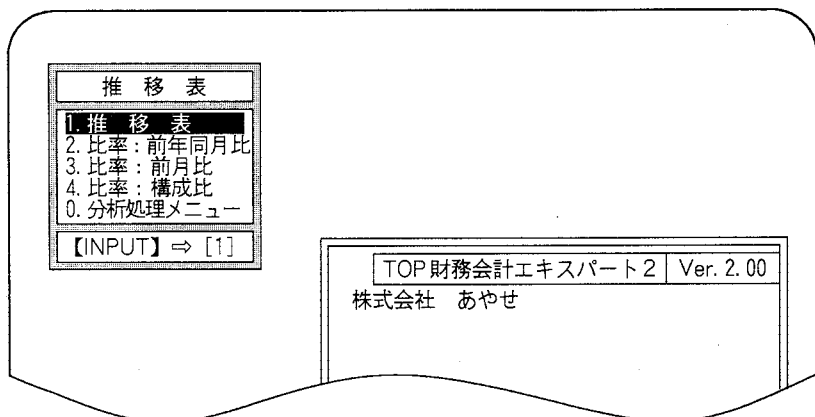
この章では、日常処理で伝票入力したデータをそのまま利用して、経営分析等を行うための推移表や各種グラフの作成とその操作について説明します。



1. 推移表

総勘定科目、補助科目、部門科目、資金繰りについて、月次ベース又は年次ベースの金額や比率を比較して、各勘定の変化を画面表示させたり、プリンタで出力することができます。

分析 のメニュー画面から、1. 推移表 を選択すると、次のような推移表のメニュー画面になります。



(1) 推移表

推移表メニュー画面から1. 推移表 を選択し、画面のメッセージに従って **貸借** **損益** **製造** **資金繰** **補助** **部門** の中から表示したい帳票を選択し、月次・年次の切り替えや発生・累計の切り替え、単位変更等を各ファンクションキーで設定します。各ファンクションキーの意味は次のとおりです。

- 発生** …その月における各勘定の発生額を表示する。
- 累計** …その月における各勘定（損益科目）の残高を表示する。
- 印刷** …推移表を印刷する。
- 月次** …月次単位による推移を表示する。
- 年次** …年次単位による推移を表示する。
- 内訳** …各勘定科目の補助科目又は部門科目を表示する。
- 単位** …表示する際の単位を変更する。

(1回押すごとに円・千円・百万円となる)

(2) 比率：前年同月比

対前年同月の増加率や減少率を金額とともに推移表に表示します。

推移表メニュー画面から、2. 比率：前年同月比 を選択します。以降の操作方法は(1)推移表と同じです。

(3) 比率：前月比

対前年比の比率を金額とともに推移表に表示します。

推移表メニュー画面から、3. 比率：前月比 を選択します。以降の操作方法は(1)推移表と同じです。

(4) 比率：構成比

各勘定の総資産、売上高又は当期総製造費用に対する比率を金額とともに推移表に表示します。以降の操作方法は(1)推移表と同じです。

2. 前年同月対比表

当期各月と前期同月とを、各勘定科目毎に対比させ画面表示させたり、プリンタで出力することができます。

のメニュー画面から、2. 前年同月対比表 を選択し、画面のメッセージに従って の中から、表示したい帳票を選択し、発生・累計の切り替えや単位変更等を各ファンクションキーで設定します。各ファンクションキーの意味は次のとおりです。

…当期各月と前期同月とをその月の純発生額によって比較し表示する。

…当期各月と前期同月とをその月の各勘定科目の残高（期首からの発生額）によって比較し表示する。

…対比表を印刷する。

…表示する際の単位を変更する。

（1回押すごとに円・千円・百万円となる）

3. 経営分析

収益性、流動性、生産性の観点から諸比率や金額等から企業経営の状況を評価するための当期及び過去5年間の推移表と分析展開表を画面表示させたり、プリンタで出力することができます。

分析 のメニュー画面から、3. 経営分析 を選択し画面のメッセージに従って表示するものをファンクションキーで設定します。各ファンクションキーの意味は次のとおりです。

収益性 …資本がその利益獲得のために、いかに効率的に運用されているかを分析するためのもので、総資本経常利益率を基本数値として、各分析数値を表示する。

流動性 …企業の財務安定性、つまり短期的・長期的支払能力がどれだけあるかを分析するためのもので、短期・長期という視点から支払能力を多角的に分析し、その結果を表示する。

生産性 …企業がどれだけ新しい価値（付加価値）を生み出し、またそれがどのような形で分配されているかを分析するためのもので、労働生産性を基本数値として多角的に分析し、その結果を表示する。

推移表 …収益性分析、流動性分析、生産性分析における主要項目の当期及び過去5年間の推移を表示する。このキーを押して **収益性** **流動性** **生産性** を選択すると、すべて表の形式で表示されます。

社員数 …生産性分析のために必要な従業員数を登録する。

印刷 …画面表示されている分析表を印刷する。

単位 …表示する際の単位を変更する。
(1回押すごとに円・千円・百万円となる)

4. 損益分岐点分析

企業の費用・売上高・利益の関係をを用いて、目標利益を確保するためにはどのくらいの売上が必要か、あるいは原価をどのくらい引き下げたらよいかを分析したり、現在の利益の安全性を分析したりするための損益分岐点及び安全余裕率の計算や損益分岐点図表を画面表示させたり、プリンタで出力することができます。

のメニュー画面から、4. 損益分岐点分析 を選択し、画面のメッセージに従って月次か年次か等を各ファンクションキーで選択します。各ファンクションキーの意味は次のとおりです。

…当期又は前期の任意の期間について、損益分岐点を計算する。

…過去5年間の内、任意の年について、損益分岐点を計算する。

…手入力した金額に基づいて、損益分岐点を計算する。

次に、分析対象の年又は月を指定すると、損益分岐点分析結果と図表が画面表示されます。プリンタで出力する場合は を押し印刷を実行させます。

5. ABC分析

指定された総勘定科目における補助科目について、金額の大きい順に並びかえるとともに、占有率をグラフ表示させたり、プリンタで出力することができます。

のメニュー画面から、5. ABC分析 を選択し、集計期間を選択するか、累計の場合は を押します。次に分析を行いたい総勘定科目コードを入力すると、ABC分析画面が表示されます。

区分や表紙順序の変更等は、ファンクションキーで設定します。各ファンクションキーの意味は次のとおりです。

…総勘定科目コード入力待ちの状態に戻る。

…分析対象月の範囲を変更する。

…分析結果とグラフを印刷する。

…補助科目の表示順序を切りかえる。

区分変 …A、B、Cランクに分ける基準を変更する。

初期画面の基準は次のようになっています。

Aランク	0～75%
Bランク	75～95%
Cランク	95～100%

貸借残 …分析を借方金額、貸方金額、残高ベースのうちどれで行うかを選択する。

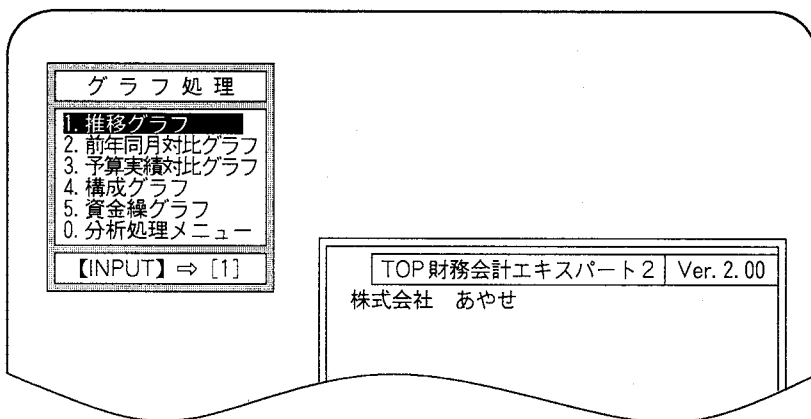
初期画面では、残高ベースになっています。

単位 …表示する際の単位を変更する。

(1回押すごとに円・千円・百万円となる)

6. グラフ処理

分析 のメニュー画面から、6. グラフ処理 を選択すると、次のようなグラフ処理のメニュー画面になります。



(1) 推移グラフ

総勘定科目の年次・月次推移を折れ線グラフや棒グラフで表示させたり、プリンタ出力することができます。

グラフ処理メニュー画面から、1. 推移グラフ を選択し、表示したい総勘定科目コードを入力します。総勘定科目は最大3つまで入力できます。次に **開始** を押すと金額の集計が始まり、月次の折れ線グラフが表示されます。月次・年次の切り替えや単位の変更等は、ファンクションキーで設定します。各ファンクションキーの意味は次のとおりです。

当 期 …当期の12ヶ月分及び決算整理月の月次推移グラフを表示する。

前 期 …前期の12ヶ月分及び決算整理月の月次推移グラフを表示する。

印 刷 …推移グラフを印刷する。

月 次 …当期又は前期の月次グラフを表示する。

年 次 …当期及び過去5年間の年次推移グラフを表示する。

単 位 …表示する際の単位を変更する。

(1回押すごとに円・千円・百万円となる)

また、グラフの種類やスケール等の変更は **ESC** を押し、画面のメッセージに従って変更します。

(2) 前年同月対比グラフ

前期と当期の総勘定科目（貸借対照表項目は残高、損益・製造項目は発生額）の月次推移グラフを重ねて対比表示させたり、金額に関しては構成比も表示できます。またプリンタで出力することもできます。

グラフ処理メニュー画面から、2. 前年同月対比グラフ を選択し、表示したい総勘定科目コードを入力すると、金額の集計が始まり月次の折れ線グラフが表示されます。単位変更等は、ファンクションキーで設定します。各ファンクションキーの意味は次のとおりです。

印 刷 …前年同月対比グラフを印刷する。

単 位 …表示する際の単位を変更する。

(1回押すごとに円・千円・百万円となる)

また、グラフの種類やスケール等の変更は **ESC** を押し、画面のメッセージに従って変更します。

(3) 予算実績対比グラフ

当期の損益、製造科目の予算及び実績の月次推移グラフを重ねて対比表示させたり、金額に関しては構成比も表示できます。またプリンターで出力することもできます。

グラフ処理メニュー画面から、3. 予算実績対比グラフ を選択し、表示したい総勘定科目コードを入力すると、金額の集計が始まり、月次の折れ線グラフが表示されます。単位変更等は、ファンクションキーで設定します。各ファンクションキーの意味は次のとおりです。

印刷 …前年同月対比グラフを印刷する。

単位 …表示する際の単位を変更する。

(1回押すごとに円・千円・百万円となる)

また、グラフの種類やスケール等の変更は **ESC** を押し、画面のメッセージに従って変更します。

(4) 構成グラフ

貸借対照表、損益計算書、製造原価報告書の金額の推移や各内容の構成比の推移をグラフで表示させたり、プリンタで出力することができます。

グラフ処理メニュー画面から、4. 構成グラフ を選択し、表示したい期間を当期・前期・年次の中から選択します。次に表示したい科目を貸借科目・損益科目・製造科目の中から選択すると、金額の集計が始まり構成グラフが棒グラフで表示されます。帳票選択や期間選択の変更は、ファンクションキーで設定します。各ファンクションキーの意味は次のとおりです。

帳票選 …帳票選択画面に戻る。

期間選 …期間選択画面に戻る。

印刷 …構成グラフを印刷する。

累計 ・ **発生** …累計と発生の切替えをする。

構成比 …金額を単位としたグラフから各項目の割合をグラフ化して表示する。

参照 …画面に表示されているグラフの意味が表示される。

単位 …表示する際の単位を変更する。

(1回押すごとに円・千円・百万円となる)

(5) 資金繰グラフ

当期の経常利益、設備等収支、財務収支、総合収支を月次推移グラフにして表示させたり、数値も表示できます。また、プリンタで出力することもできます。

グラフ処理メニュー画面から、5. 資金繰グラフ を選択すると、金額の集計が始まり資金繰グラフが表示されます。収支の内訳参照や単位変更等は、ファンクションキーで設定します。各ファンクションキーの意味は次のとおりです。

印刷 …資金繰グラフを印刷する。

内訳 …各収支の内訳である収入金額と支出金額を画面に表示する。

単位 …表示する際の単位を変更する。

(1回押すごとに円・千円・百万円となる)

また、グラフの種類やスケール等の変更は **ESC** を押し、画面のメッセージに従って変更します。

7. 予算実績管理

売上及び費用の合理的な管理をするため、売上の達成目標としての予算と、費用の支出としての予算を設定し、予算実績を月次ベースで対比させた損益計算書や製造原価報告書を画面表示させたり、プリンタで出力することができます。

分析 のメニュー画面から、7. 予算実績管理 を選択すると、予算設定画面になりますので、手入力か自動かの選択等ファンクションキーで選択します。各ファンクションキーの意味は次のとおりです。

手入力 …当期における各月予算額を入力、表示する。

自動 …年度予算を入力することにより、当月の月次予算を自動設定する。

対比表 …予算実績対比表画面に変わる。

手入力 を選択した場合は、前年の金額が自動集計され画面表示されますので、それを参考にしながら順に月次予算額を入力し **終了** を押します。

自動 を選択した場合は、前年の金額が自動集計され画面表示されますので、それを参考にしながら年次予算額を入力する等、画面のメッセージに従って設定します。

この時のファンクションキーの意味は次のとおりです。

損益 …損益科目の予算設定をする。

製造 …製造科目の予算設定をする。

印刷 …入力した各月の予算額を印刷する。

変・固 …変動費、固定費区分を変更する。

参照 …現在まで入力した予算について、要約損益計算書又は要約製造原価報告書の形で画面表示する。

終了 …予算入力データの登録をする。

対比表 を押すと、対比表の初期画面になります。

まず、**損益** か **製造** か作成する帳票を選択し、次に発生ベースか累計ベースかの設定等ファンクションキーで設定します。

この時のファンクションキーの意味は次のとおりです。

発生 …当月発生額による予算・実績対比を表示する。

累計 …期首から当月までの累計額による予算・実績対比を表示する。

印刷 …任意の月の予算・実績対比表を印刷する。

単位 …表示する際の単位を変更する。

(1回押すごとに円・千円・百万円となる)

8. 過去データの入力

このソフトでは、総勘定科目については月次ベースで2年間、年次ベースで過去5年間分のデータ（補助科目・部門科目は当期分のみ）を比較・分析することができますが、システム導入から間もない場合には比較・分析の対象となるデータが少なく、有効な経営分析が行えません。そこで、導入前の過去のデータの入力が必要になります。

データを入力できる期間は、月次データの場合で前期12ヶ月分及び決算整理月、年次データの場合で前々期以前4年分を入力できます。また金額では、毎月作成している合計残高試算表の残高を入力します。

分析 のメニュー画面から、8. 過去データの入力 を選択すると、月次の貸借対照表が表示されます。帳票の選択等ファンクションキーで選択します。各ファンクションキーの意味は次のとおりです。

帳票選 …入力する帳票を選択する。

印刷 …任意の月（8個まで）又は5年分のデータを印刷する。

月次 …前期の月次データの入力をする。

年次 …過去4年間の年次データの入力をする。

参照 …現在までに入力した過去データについて、要約貸借対照表、要約損益計算書、要約製造原価報告書を表示する。

終了 …過去データの登録をする。

帳票及び月次・年次の選択が終わったら、過去データの金額を入力し **終了** を押します。

プリンタで出力する場合は **印刷** を押し、印刷を実行させます。